今年度２回目の「保育参観」！今回は、コロナ禍前と同じように土曜日に実施を！

～感染症の流行がまだ収まっていないため、学年ごと３回に分けて行うことにしました～

１ 月２０日(土)に、今年度２回目の保育参観を行いました。今回は、以前と同じように土曜日に実施しました。しかし、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症の流行がまだ収まっていないため、学年ごとに実施することにしました。

今回は、年中組での参観です。少し肌寒い日でしたが、太陽も顔をのぞかせ、絶好の参観日和となりました。９時１０分になり保育参観が始まりました。園庭に集合整列すると、いつものように「朝のあいさつ」と「５つのやくそく」の復唱をしました。その後、年少の時に運動会で踊った「ウンパパ体操」を行いました。寒い朝だったので体が十分に動かせない様子の子もいましたが、ほとんどの子が元気いっぱいに踊ることができました。大好きなお父さんやお母さんの前で行う体操。ちょっぴり恥ずかしかった様子もうかがえました。

体操を披露した後は、各組に分かれての保育活動です。初めに「朝の歌」や「豆まき」の歌を元気いっぱいに披露しました。次に、先生が「出席ブック」を配布し、みんなで出席シールを貼りました。次に親子で「鬼のお面」の製作を行いました。ハサミで鬼のツノと顔の部分を切り取ります。次に切った「鬼の顔とツノ」を台紙に糊で貼り付けました。そして、クレヨンで鬼の顔になるように目や鼻、口などを描いたり、ツノに模様をつけたりしました。保護者の方も一緒に活動したのですが、ハサミの使い方を教えるなど少しは手をさしのべていましたが、ほとんどは子ども達の作業を見守っていました。しっかりと活動する我が子の成長を温かい眼差しで見守る姿が印象的でした。

製作活動の後は、作った鬼の面をかぶって園庭で「豆まき」をしました。初めに子ども達が鬼役になった親に豆を投げます。本気で豆をぶつけようと張り切る子ども達。投げられた親も嬉しそうに走り回る姿が微笑ましく感じました。次は、子ども達が鬼役になる番です。当たっても痛くないカラーボールを使い、親が子ども達めがけて「鬼は外！」です。本気で子ども達を追いかけまわし投げつけるお父さん・お母さん。とても楽しそうでした。

親子で楽しんだ後は、「クラス別懇談」を行い、園での子ども達の様子や成長したことなどについて先生からお話がありました。懇談会終了後に、「帰りの会」を行い解散となりました。保護者の皆様には、お忙しい中「保育参観」に来ていただき誠にありがとうございました。一緒に活動でき子ども達も大喜びでした。